

全道
病院集会

看護師20万人体制の実現



道本部衛生医療評議会は、3月15日・16日に自治労会館で、全道病院集

ははじめに、小林議長が「今年度の診療報酬改定が消費税増税を踏まえる

数か赤字で、厳しい病院運営となり、医師や看護師の確保が困難な状況

その後、意見交換を行い、職務やワークライフバランスを考えた募集の仕方や、マッチングの問題があることが明らかに



分科会で、さまざまな意見交換を行った=自治労会館

「診療報酬改定と医療制度の動向」は全国診療報酬問題対策PTの三好正継さんが講演し、「病院の再編にむけた誘導がされている。看護師の夜勤体制が病院事業者からの訴えで労働強化につなが

2日目は、「2014国民春闘アンケート」から見た病院の労働実態と課題を提起し、その後、看護職と技術職・事務職に分けて職種別分科会を開き、意見交換を行った。

家族交流会で団結強化



職場だより

【釧根地方本部発】厚岸町職では、現在の理事者体制の中で運動が構築できず、執行体制も同じ顔ぶれで高齢化していた状況にありました。しかし、昨年念願の職場分会からの選出で執行部体制の強化がはかれました。我が単組の強みは元気な青年部と良妻賢母な女性部

があることです。昨年は1996年から途絶えていた「クリスマス家族交流会」を17年振りに開きました。この交流会は、組合員とその家族が交流し職場と家庭から団結を強めようと開催されました。

委員会を立ち上げることになり、近年沈んでいた単組行事が見事に復活しました。交流会では、参加者一同暖かく幸せな楽しい時間を過ごすことができました。「仲間」とともに運動するよるこびを共感することができました。この取り組みを糧に基本組織全



クリスマス交流会に子どもと一緒に参加した、厚岸町職・大屋彩乃さん

体に弾みをつけていきたいと思えます。今後も、当地ブランド牡蠣「カキえもん」を食べながら頑張ります。(厚岸町職・富谷芳幸・委員長)

チャレンジ! チルドレン・ファースト 39

消費税引き上げは国民の安心感を物差しに

3月15日から16日にかけて開かれた自治労全国保育関係代表者会議の場で、厚労省保育課長から「子ども・子育て新制度」の説明がありました。その中で「質の改善」に係る費用については消費税増収分から充当される「0.7兆円ベース」のもと、必要額を積み上げて算出した「1兆円超ベース」のもと2本立てと説明しています。現状では具体的な財源確保の方策が示されていない以上、自治体としては「0.7兆円ベース」

忙中余話

道本部に入職して臨時職員の間も含めて、1年が過ぎようとしている。この1年を振り返ってみると、「あっ!という間に過ぎた!」というのが正直なところだ。▼女性部・青年部の担当書記として働き、今までの自分と変わったなあと思うことは「声をあげる」ということに対して、抵抗感がなくなったことだ。▼なぜそう変わったのか、はっきりわからないが、幹事に、もっと成長していきたい。(岡かおり)

『パーソナル編集長』導入してほしい



真剣に教宣紙を作成する参加者=3月15日、自治労会館

3月15日、札幌市・自治労会館で「石狩・後志・空知地方本部合同教宣学習会」が開かれ、17人が参加した。学習会は、各単組より良い教宣紙を発行するためにパソコンソフトの「パーソナル編集長」を使用して行なわれ、「自治労の教宣紙活動と教宣紙のつくりかた」と題して、引地・道本部教宣部次長が講師を務めた。

引地次長は「教宣紙は組合費の領収書。当たり前前に組合員が知るべき情報を提供する目的がある。教宣紙を読んでもらうためには、良い紙面づくりが大切だ」と述べた。また「記事を作成する上で、5 W 1 H (What、Where、Who、What、Why、How)の要素を入れることで読みやすい記事になる。禁じ手は読み手を迷わせたり不快に思わせる

しまう。何より大事なものは見出しの付け方。よりインパクトと説得力がある見出しを付けることで記事へと誘導できる」と述べ、教宣紙作成に当たっての注意点を述べた。その後、参加者が「パーソナル編集長」を使用した教宣紙を実際に作成した。参加者からは「普段の教宣紙づくりでは、

石狩・後志・空知地方本部 合同教宣学習会

必要「厳しい労働環境の中で、人間関係が希薄になり、それぞれが他者を思いやるのが出来なくなっている」といった実態が出された。全体会では、分科会報告の後、小林議長が「さまざまな課題が共有でき

おーさかさんの徒然だより

多数決は民主主義における、一つ粘り強い議論をとおして多くの方が意思決定手法だ。賛否を明確にする点で、デジタル的で分かりやすい。何か複雑な解決の難しい問題に直面すると、多数決に逃避しがちな場面が多い。白と黒など違った意見を確認しながら、丁寧に議論を進めることで、民主主義とは違うものだろう。(3月24日、栗山への移動中にて)